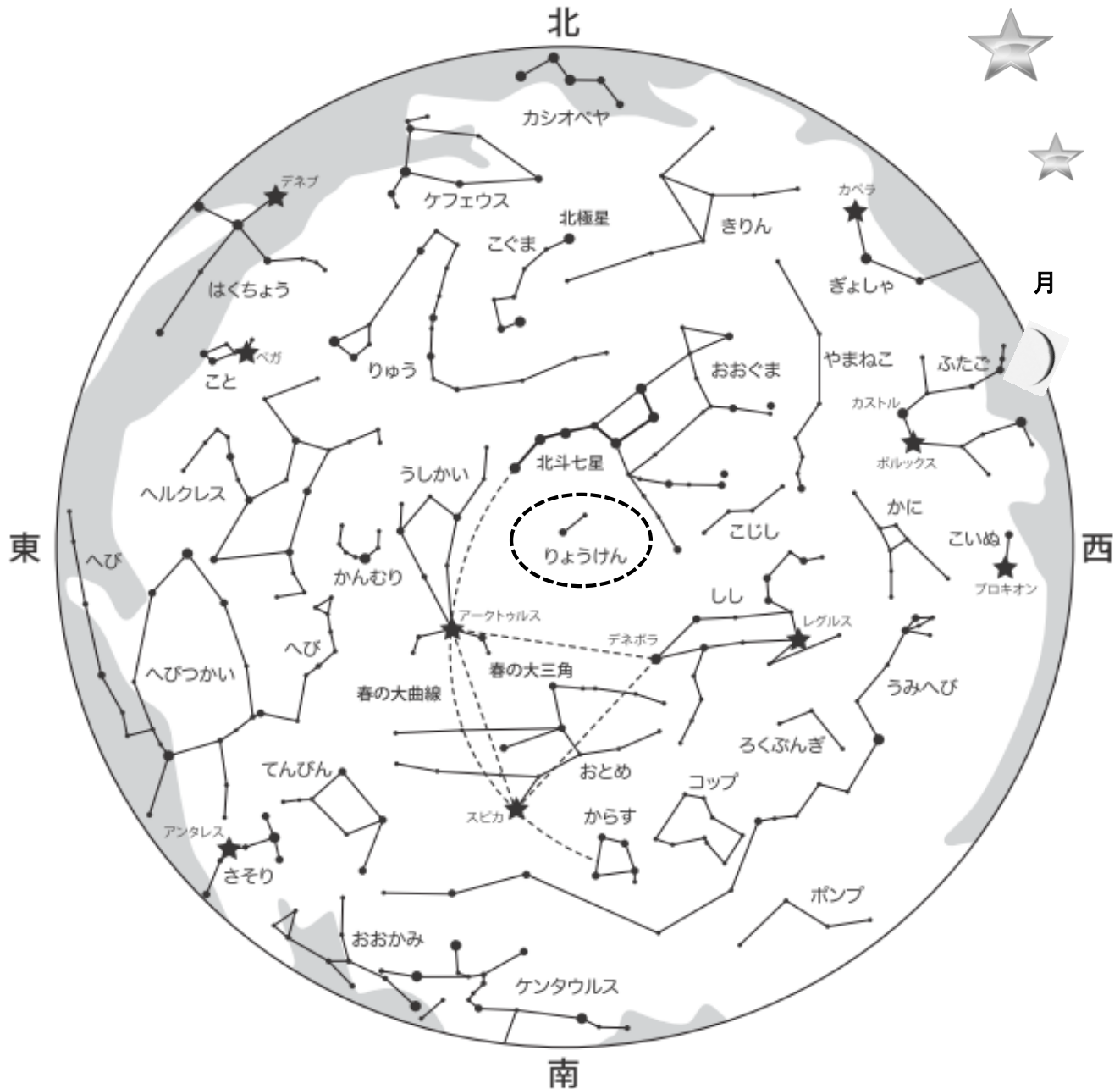


松江市立天文台～5月の天文教室～

令和元年5月8日

～5月中旬午後9時頃の星空



平成31年はわずか4か月しかありませんでしたが、天文学の大ニュースが続きました。

2月22日にははやぶさ2が小惑星リュウグウにタッチダウン、4月5日には同じくはやぶさ2がリュウグウ表面にクレーターを生成することに成功、そして4月10日には世界で初めてブラックホールを捉えた画像が発表されたのです。

はやぶさ2は日本の探査機で、ブラックホールの研究でも日本の研究者が主要な役割を果たしています。

時代は令和ですが、平成31年も忘れられない年になりました。

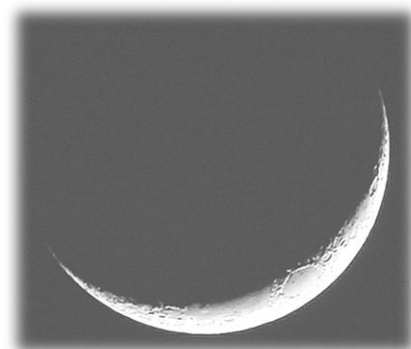
5月中旬午後9時頃の星空です。

月の位置は5月8日現在のものです。

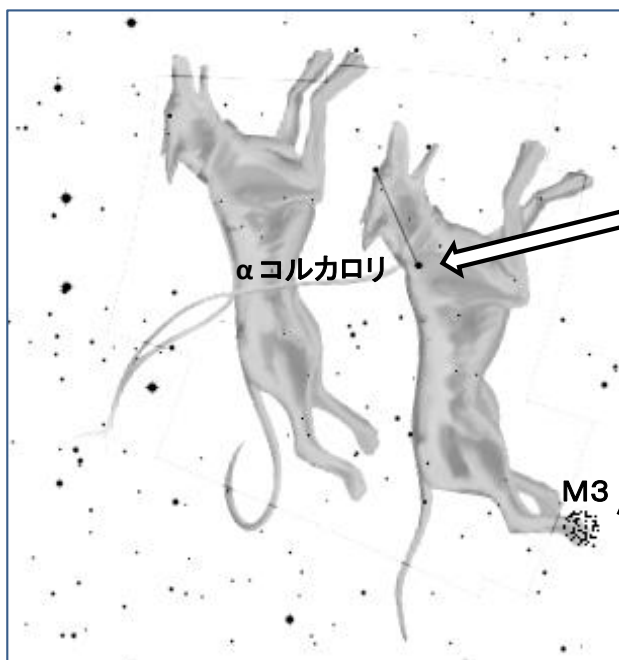
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は、月齢 3 きれいな三日月です。
新年号の令和は、新春のめでたい月を表現する「令月」という言葉から引用されているとのこと
これは暦の話ですが、令という字には立派とか美しいという意味もあるそうです。
今夜空に見える月は、立派に美しく見えるでしょうか。

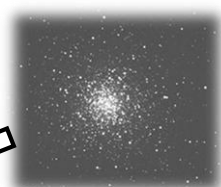


りょうけん座



りょうけん座は、北斗七星の南にある小さな星座で、大熊（おおぐま座）を追う男（うしかい座）が連れた2匹の犬として描かれています。
17世紀のポーランドの天文学者ヘベリウスが創設した星座です。

りょうけん座のα星コルカロリは、天体望遠鏡で拡大すると二つの星に分かれて見えます。
色の対比が美しく、明るい星が黄色に、暗い星が紫色に見えると言われますが、皆さんは何色に見えますか？

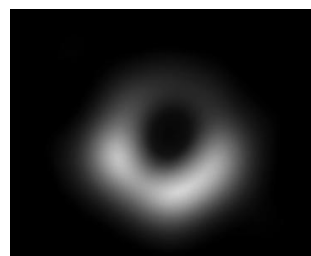


M(メシエ)3は、代表的な球状星団のひとつです。
たくさんの星が球のようにあつまっていて、その大きさは114光年、地球からの距離は4万5千光年といわれています。

特報!

世界初の快挙、ブラックホールの撮影に成功した研究グループの主要メンバーのひとり、松江市玉湯町出身の 国立天文台 秦 和弘(はだ かずひろ)さんの講演会が開催されます。

- 日時 5月13日 19:00~20:30(終了予定)
- 場所 玉湯公民館大ホール
- 演題 「人類が初めて捉えたブラックホールの姿」
- 主催 玉湯公民館
- 後援 松江市・松江市教育委員会
- 協力 松江星の会
- 問い合わせ 玉湯公民館 (Tel0852-62-9111 Fax0852-55-5793)



世界で初めて撮影されたブラックホールの画像
(国立天文台HPより)

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 6月12日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会